

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

②施設・事業所情報

名称：大和南林間雲母保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：柴田 美帆	定員（利用人数）： 63名	
所在地：神奈川県大和市南林間1丁目13-6		
TEL：046-271-7221	ホームページ： https://www.kirara-hoikuen.com/about/hoikuen/minamirinkan/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社モード・プランニング・ジャパン		
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 2名	
専門職員	園長 1名 保育士 12名	
	主任 1名 栄養士 2名	
	調理員 1名	
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)	
	保育室 5室 大人トイレ 3箇所	
	更衣室 1室 子どもトイレ 2箇所	
	休憩室 1室 園庭 有り	
	事務室 1室	
	調乳室 1室	

③理念・基本方針

- 1)社訓「謙虚・素直・奉仕」
- 2)理念”輝く大人が 輝く子どもと子どもの未来を育てる”
- 3)地域社会貢献、待機児童の解消
- 4)利用者や行政と信頼関係を築く
- 5)顧客満足度の向上、利用者本位のサービス提供

④施設・事業所の特徴的な取組

雲母保育園では、食育に力を入れて取り組んでいる。
例えば、管理栄養士・栄養士を1園につき複数人配置している、サイクルメニューではなく毎月栄養士がテーマを考え毎日違うメニューの給食を提供している、栄養士と保育士が協力しクッキング保育を毎月実施している、全園と本社の投票により選ばれた1園の献立を全園で提供するイベント「給食フェア」を年に2回実施している、栄養士が近所の店に買い物に行き新鮮な食材を厳選して購入している。
また、少人数の園であるメリットを活かして異年齢児での交流を多く図り、兄弟児のような関係性で保育をすることを心がけている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 7月 4日（契約日） ～ 2023年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

・食育に力を入れ、子どもの「食べる意欲」を育てています
管理栄養士や栄養士も保育に携わり、食べる楽しさや食べることの大切さを保育者と一緒に伝えると共に、食事が楽しくなるような献立の作成や、調理の工夫をし、「食べる意欲」を育てるために取り組んでいます。食育行事として郷土料理や世界の料理などをテーマにした「給食フェア」、「クッキング保育」などをおこなうほか、栄養士が実際に買い物に行き、新鮮・安全な食材を選んで購入するなど、安全・安心な給食の提供にも努めています。

・系列園全体が共有や連携のできる、法人独自の取り組みがあります
職員が姉妹園の施設長に業務報告をおこない、時に相談の機会となる就業報告やヒヤリハット・怪我・事故情報などを共有する取り組みがあります。園同士の横のつながりを持ちやすくし、あらゆることを共有できるようにすることで、コンプライアンスや保育の質の維持や改善に反映しています。

・職員間の連携に努めています
職員間のコミュニケーションが取れており、子どもや保育内容について話し合う時間が多く持っています。クラスでの話し合いや職員会議などで日常的に情報共有出来ている他、施設長や職員同士が気軽に相談にのったり、苦手分野のフォローをし合うなど良好な関係が築けています。また、良いチームワークのもとで、異年齢との交流などクラスの枠を超えた関わりも持っています。研修後はレポートを作成、全職員と得た知識を共有することで、保育の質の向上に取り組んでいます。

【今後期待される点】

・目標とする保育の実現に向けて、さらなる取り組みに期待します
保育内容の充実に向けて、計画的な外部研修の参加や園内研修を実施しています。併せて行事の見直し、新たな取り組み、保育の可視化に取り組んでいます。保育者個々の能力や資質の差、保護者からの反応により職員のモチベーションが上がらない状況があります。今後は、さらなる保護者ニーズの的確な把握をしながら、新しい視点からの取り組み、職員同士の意見交換や話し合いをおこない、目標とする「大人も子どもも日々楽しいと思える保育」へ繋がることに期待します。

・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、自然や社会・地域と関わる機会を増やしていくことに期待します
今後、コロナウイルス感染の状況がどのように変化するか想像することは難しいですが、感染対策を適切におこない保護者にも周知した上で、少しずつ活動の幅を広げていくことに期待します。また、子どもが主体的に活動でき、身近な自然と触れ合い、地域の人に接し、社会体験が得られる機会を確保し、その状況を保護者に伝え共に成長を感じられるよう、努めていくことに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審し、これまでの園運営を客観的に振り返る事が出来ました。これまで行ってきた評価される個所、また改善の必要な個所を具体的に示して頂けることにより、保育者のモチベーションのアップ、また今後の課題への取り組み方が明白になりました。この結果をしっかりと受け止め、今後更に良い園となるよう、保育者一同で検討し、取り組んで参りたいです。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり